

骨子・構成案			担当
大	中	小	
はじめに			松本委員長
審議の経過について			事務局
1 仙台市における現状 ―（●●●●）―	1（１）学び		事務局
	1（２）居場所		
	1（３）まとめ		松本委員長
2 こどもの学ぶ喜びと居場所について（仮） （総論・共通事項 ※提言の骨子含む）	2（１）学び	①やりたいことができ、何もしなくてもよい（学びの特徴）【地域】	松本委員長 朴副委員長
		②安心・安全で失敗できる環境（学びの環境）【地域】	
		③多様性に応じた包摂的な環境（学びの環境）【外国】	
		④地域とのつながりによる学び（学びづくりの方法）【外国】	
	2（２）居場所	①こどもと親それぞれに必要な居場所（居場所の対象）【地域】	
		②学校の重要性（居場所の場所）【外国】	
		③利用のしやすさと多様性（居場所の種類）【地域】	
		④地域や社会とのつながり（居場所づくりの方法）【外国】	
	2（３）キーパーソン（人とのつながり）	①市民の力の育成と活用（キーパーソンの種類）【地域】【外国】	
		②学校への支援（キーパーソンの種類）【外国】	
		③後継者育成（キーパーソンの種類）【外国】	
	2（４）行政の支援	①経済的支援【地域】	
		②場所の支援【地域】	
		③学校との連携【外国】	
		④NPOやボランティアとの連携【外国】	
3 地域におけるこどもの学びと居場所 （各論１）	3（１）学び	①	
		②	
		③	
	3（２）居場所	①こどもの居場所	
		②親の居場所	
		③行きたいところを自分で選択できる居場所	
	3（３）キーパーソン（人とのつながり）	①場を提供する人と地域とのつながり	
		②	
		③	
	3（４）行政の支援	①お金	
		②場所	
		③人	
	3（５）小括		
4 外国にルーツを持つこどもの学びと居場所 （各論２）	4（１）学び	①	
		②	
		③	
	4（２）居場所	①外国にルーツを持つ人にとって、居場所とは何か	
		②学校教育の居場所	
		③社会教育の居場所	
	4（３）キーパーソン（人とのつながり）	①地域の人の事例（後継者育成、人材探しの支援等）	
		②外国にルーツを持つこどもたちが、将来どんな影響をもたらすか	
		③	
	4（４）行政の支援	①こどもへの周知方法（特に義務教育後）	
		②居場所づくりの機会醸成・場所の提供	
		③	
	4（５）小括		
おわりに			朴副委員長